

報道関係者 各位

2025.8.1

<配信枚数 2 枚>

大阪・関西万博

8 月開催 立命館が届ける注目プログラム第 4 弾を公開！

～月の石展示、宇宙ワークショップ、田中賢介氏スペシャルトークイベントなど見どころ満載～

学校法人立命館(所在地:京都府京都市、理事長:森島朋三)は、「学園ビジョン R2030」のもと、未来社会に必要な「学びの実践」を重視し、大阪・関西万博に参画しています。会期中は、学生団体によるワークショップや研究発表および展示、附属校の児童・生徒による発表など、多彩なプログラムを展開しています。

2025 年 8 月には、元北海道日本ハムファイターズの田中賢介氏によるトークイベント、立命館大学万博学生委員会「おおきに」によるワークショップなどを開催します。また、大阪・関西万博シグネチャーイベント「世界遊び・学びサミット」において、宇宙地球探査研究センター(所在地:滋賀県草津市、センター長:佐伯和人、以下「ESEC」)による宇宙・月面探査研究をテーマとしたブース出展や、立命館アジア太平洋大学(所在地:大分県別府市、学長:米山裕、以下「APU」)の学生総勢 66 人による各国の伝統文化紹介を実施します。来場者が「遊びながら学ぶ」体験を通して、宇宙開発から多文化共生まで幅広いテーマに触れられる機会を創出します。



【田中賢介氏トークイベント】



【月の石（展示予定）】



【APU での伝統文化紹介の様子】

▼取材申し込み

申込フォーム : <https://forms.office.com/r/C5AXz05fkz>

※記載いただきました情報については、本学園広報活動以外の目的には使用いたしません。

※ご取材いただける場合は、各企画の 2 日前(土日祝除く)15 時までにお申込みください。



▼参考

- ・立命館 大阪・関西万博特設サイト
- ・立命館 出展一覧

<https://www.ritsumei.ac.jp/expo2025/>
<https://www.ritsumei.ac.jp/expo2025/event/>

本リリースの配付先: 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会

●出展・企画についてのお問い合わせ先

立命館大学 OIC 地域連携課 担当:一ノ瀬 TEL:072-665-2550 Email:oiiclec@st.ritsumei.ac.jp

●取材・報道についてのお問い合わせ先

学校法人立命館広報課 担当:覚(かく)・岡本 TEL:075-813-8300 Email:r-koho@st.ritsumei.ac.jp

別紙

◆ 8月6日(水) | 田中賢介氏スペシャルトークイベント

大阪・関西万博 Women's Pavilion in collaboration with Cartier 「WA」スペースにて、元プロ野球選手で教育者としても活躍する田中賢介氏をお迎えしたトークイベントを開催します。国際的・先進的な教育を実践する田中学園立命館慶祥小学校と、立命館の国際性を体現する立命館大学グローバル教養学部の実践事例を踏まえながら、第一部では「家庭とともにある教育」をテーマにしたディスカッション、第二部では田中氏の人生と教育への想いに迫るインタビューを通じ、次世代を育むためのヒントをお届けします。



田中 賢介 Kensuke TANAHA

学校法人田中学園 理事長

生年月日: 1981年5月20日 (44歳)
出身地: 福岡県筑前市
出身校: 東福岡高等学校

プロ野球選手としての経歴

1999年 ドラフト2位で日本ハムファイターズに入団
2000 - 2012年 日本ハムファイターズ/北海道日本ハムファイターズ
2013年 サンフランシスコ・ジャイアンツ
2015 - 2019年 北海道日本ハムファイターズ
ポジション: 内野手 投打: 右投左打

主な受賞歴

・ベストナイン (二塁手部門)
2006年、2007年、2009年、2010年、2012年、2015年
・ゴールデングラブ賞: 2006年 - 2010年 (5年連続)
・月間MVP: 2010年6月

チーム通歴

俊足巧打の内野手として活躍し、2006年から2010年まで5年連続でゴールデングラブ賞を受賞。またベストナインにも6度選出されています。2012年オフに米球界入りを発表し、2013年にはサンフランシスコ・ジャイアンツでプレーしました。その後2015年に北海道日本ハムファイターズに復帰し、2019年に現役を引退しました。

教育者としての挑戦

現役引退後の2020年からは、北海道日本ハムファイターズの「スペシャルアドバイザー」に就任し、NHKの野球解説者としても活動。さらに教育分野への情熱から「学校法人田中学園」を設立し、理事長に就任。2022年4月には、札幌市に「田中学園立命館慶祥小学校」を開校しました。同校は、「学ぶを、しあわせに。」を建学の精神とし、子どもたちが挑戦・創造・貢献を体験できる教育を目指しています。

▼参考: <https://www.ritsumeit.ac.jp/file.jsp?id=662848&f=.pdf>

◆ 8月8日(金)・9日(土) | 「宇宙」を体験する2日間

※ご取材日は8月8日(金)のみとなります

EXPO メッセ「WASSE」にて、ESEC が取り組む最先端の研究活動を紹介するとともに、小学生～高校生を対象とした「月面探査ミッション」(ワークショップ)を開催します。また、2024年1月にピンポイント着陸に成功した小型月着陸実証機 SLIM に搭載したマルチバンド分光カメラ(MBC)の地上試験用モデルや、地球型惑星の形成初期段階を解明する手掛かりとなる月隕石、月面模擬フィールドなどで実証実験に用いる地盤調査ロボットなど、ESEC メンバーの研究活動を展示・解説します。



▼参考: <https://www.ritsumeit.ac.jp/file.jsp?id=662846&f=.pdf>

◆ 8月8日(金)・9日(土) | 14カ国のダンスと伝統衣装に魅せられる観客参加型多文化ステージなど

EXPO メッセ「WASSE」にて、APU の学生がステージパフォーマンスを実施します。出演は、アジア太平洋14カ国・地域(フィジー、台湾、日本、サモア、パプアニューギニア、インドネシア、タイ、マレーシア、トンガ、インド、ミャンマー、パラオ、バングラデシュ、ルワンダ)出身の学生、総勢66人を予定しています。

多国籍な学生たちが、創意工夫と情熱をもって準備してきた本イベントは、「いのち」「多様性」「共生」を感じられる機会を提供します。



▼参考: https://www.apu.ac.jp/home/about/content46/R2025_07_14.pdf

◆ 8月31日(日) | 万博学生委員会「おおきに」による日本文化紹介・ワークショップ

「いのちの遊び場 クラゲ館」において、立命館大学万博学生委員会「おおきに」が日本文化の紹介やワークショップを行います。「おおきに」は現在約250人の学生が活動し、万博の機運醸成に取り組むほか、社会課題を地球全体の共通課題だと認識してもらうためのワークショップを企画。様々な社会課題ごとにテーマ設定し、体験型ワークショップを創出しています。

今回は、「おおきに」の日本文化班が扇子と水引づくりを実施。扇子にスタンプを押したり、自由にデコレーションを施して世界に一つだけのマイ扇子を作成するワークショップを行います。

